

三岐の竹と一言主大神

常総市

今から千数百年前の冬のある日のことです。現在の常総市大塚戸町あたりに不思議な光が現れました。その光が数日間続くと、雪の中からタケノコが生えていました。

そして、数夜のうちに一本が三つに枝分かれした「三岐の竹」に成長しました。

村人たちは、あまりの不思議さに怪しみ行者に祈禱させたところ、「私は大和国(現在の奈良県)葛城山の一言主大神である。私はこの国の人々を災いから救うためにここに来た。この三岐の竹を私と違って末永く祀りなさい」と一言主大神の託宣がありました。



村人たちは大そう驚いて、この辺りの人の出入りを禁止、お社を建てお祀りしました。それからこの辺りを『三竹山』と呼ぶようになったのだそうです。

悪い事も善い事も一言で言い放つ託宣神・言霊の神として古くから信仰されてきた一言主大神。

「一言願わば、良き事につけ、良からぬ事(心配事・病氣・災難等)につけ、良く聞き分けてご利益を授けてくれる神」といわれ、「万能の神」として今でも多くの崇敬者が参詣に訪れます。

現在、一言主大神を祀る一言主神社の霊竹殿では、縁起にまつわる三岐の竹が数本納められているほか、境内には崇敬者から奉納されたという「三岐の竹」も植えられているそうです。

※託宣：神仏が人のりうつたり夢の中に現れたりして、その意志を告げること。また、そのお告げ。神託。
 ※言霊：古代日本で、言葉に宿っていると信じられていた不思議な力。発した言葉とありの結果を現す力があるとされた。



お出かけの際には、周囲の状況等に十分ご配慮いただけますようお願いいたします。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>